

今週のメニュー

■トピックス

◇越谷イオンレイクタウン Act Green ECO WEEK 2018 に参加

■随想

◇ヨルダン・ハシミテ王国旅行記（1）

ーヨルダン・ハシミテ王国ってどんな国（その1）ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■トピックス

◇越谷イオンレイクタウン Act Green ECO WEEK 2018 に参加

10月20日（土）～21日（日）、イオンレイクタウン（越谷市）で開催された、企業・行政・市民・来街者が一体となりエコライフを志向する参加型環境イベント Act Green ECO WEEK 2018*に、VEC は3年連続して参加しました。

Act Green ECO WEEK は2008年から毎年開催され今年で11回目、日本一のエコ・環境タウンを目指す越谷レイクタウンを舞台に、毎年恒例の地域イベントとして「エコ・環境・安心」の意識啓発を図るため、地域住民およびその他来街者に発信しているものです。今年のテーマは、「持続可能で豊かな社会へ」、環境保護、社会保護、教育、健康、といったテーマで持続可能で社会へと全てが繋がるように私たちの住む地球、命の尊さを大事にアピールすることが込められています。今回、30以上の行政・企業・団体が参加しました。



VEC ブース付近
(mori エリア水の広場)



国連のSDGs目標や、G7の海洋プラスチック憲章などでリサイクル品を上手に使うことが社会として重要な課題となっていることから、VECブースでは、塩ビ製品が省資源、長寿命で、マテリアルリサイクルによって環境負荷低減に寄与していることを理解していただくため、塩ビ製品に関わるパネルとサンプルを展示しました。そのうちの一つは「ターポリン救護担架」、災害時など緊急を要するときに役に立ちます。普段はコンパクトにたたんで保管し、また必要なときに楽に持ち運びできることが特徴です。来場者には担架を拵げて触ってもらいました。「緊急時にそばにあればすぐに取り出せて数人で運ぶことができるからたいへん便利だ」、「たたむとコンパクトな大きさに避難所に救命用具として備えておきたい」、「AEDと一緒に置いて備えることができる」など、来場の方々からたくさんの声をいただきました。ター

ポリン救護担架は、ポリエステル繊維の基布と表面に塩ビ樹脂を積層した構造をしており、100 kgの体重にも耐える丈夫で防水・防炎・印刷性などの特性に優れ、血液などの汚れも落としやすい特徴があります。

また、2016年熊本地震で被災した塩ビ管を回収して再び塩ビ管に蘇ったりリサイクル管や、壁紙の廃材をそのまま砕いて再生材として用いて成形した歩行用の安全マットなどを展示し、塩ビのリサイクル性能や加工性の優れた特徴を紹介しました。



PVCクラフトの様子

一方、硬質塩ビ製の工作シートを用意して、ワニやゾウガメなど水辺に棲む生き物たちをその場で組み立てるクラフト教室を開催しました。子供たちだけでなく大人にも楽しんでもらい、塩ビ製品の印刷性の良さや色彩、実際に触って塩ビの質感を感じていただきました。小学生だけでなくそれ以下の小さな子どもたちもたくさん参加していただき、親子が一緒になって時間が経つのも忘れて奮闘している様子が印象的でした。

その他、断熱性に優れた樹脂窓、色彩豊かな食品サンプル、衛生的で密着性のよいラップフィルム、透明な空気入地球儀なども展示し、塩ビ製品は軟質から硬質のものまで幅広く、様々な用途に使用されていて私たちの暮らしを支えていることを身近に感じていただけたのではないのでしょうか。

2日間とも好天に恵まれ、VECブースには総勢2,000名以上の方々に来場いただくことができました。

お世話をされた実行委員会の方々の努力が無事に終わることが出来ました。感謝致しますと共に、今後ともこの活動を応援していきたいと思っています。

※ 主催：Act Green ECO WEEK 2018 実行委員会（埼玉県、越谷市、越谷市環境協会、イオンレイクタウン mori・kaze・OUTLET、積水ハウス(株)

協力：越谷市教育委員会、トヨタ自動車大学校

後援：環境省関東地方環境事務所

参加団体・企業：埼玉県環境部エネルギー環境課、越谷市環境政策課、東埼玉資源環境組合計画課、越谷市公園緑地課、越谷市リサイクルプラザ、埼玉県みどり自然課、JA 越谷市、埼玉県環境科学国際センター、NPO 法人環境ネットワーク埼玉、NPO 法人いろいろ生きものネット埼玉、東埼玉地域地球温暖化対策協議会、(一社)越谷市環境協会、積水ハウス(株)、(株)トヨタオートモールクリエイト、東京商工会議所、イオン(株)、イオントップバリュ(株)、VEC

■ 随想

◇ヨルダン・ハシミテ王国旅行記（1）

－ヨルダン・ハシミテ王国ってどんな国（その1）－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

日本では「ヨルダン」という国名で知られていますが、正式名称は「ヨルダン・ハシミテ王国」、日本語に直訳すると「ハーシム家のヨルダン」です。

現在の国王はアブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王。

立憲君主制の国家ですが、国王は軍人でもあり、最高司令官。首相が事実上の最高指揮官という、軍の影響が強い国でもあります。



中東の国の中では一番親日的な国でもあり、お父様の故フセイン1世・ビン・タラール国王ともに来日回数が多い王族でもあります。

変わったところでは、現アブドゥッラー2世・ビン・アル＝フセイン国王と日本の河野太郎外務大臣、アメリカのジョージタウン大の同窓生でもあり、かなり仲が良いとのこと。名前に「フセイン」が付いていますが、イラクの故フセイン大統領とは姻戚関係はなく、サウジアラビア、メッカの大首長であるフセイン・イブン・アリー家の一族です。

地理的にはイスラエル、レバノン、シリア、イラク、サウジアラビアに接し、唯一、紅海に面しているアカバを除くと、この4つの国に囲まれた内陸国であり、中東の中でも、政治的な舵取りは非常に高度なバランスが必要とされている国でもあります。



[クリックで拡大](#)

ヨルダン・ハシミテ王国の面積は92,300平方キロメートル。日本の面積の1/4ほどの大きさです。標高が一番低いところでマイナス400メートル、一番高いところが1,600メートル。一番低いところは“死海”と呼ばれ、日本でもよく知られています。

首都はアンマン（Amman）。標高900メートル前後のところに位置するため、冬は気温も低く、雪も降ります。

国土全体は砂漠地帯なので、非常に乾燥しています。

ナッツやポテトチップスを袋から出しておいても、いつまでもパリパリしています。

逆に、屋外に居ても汗をほとんどかきません。実際には体から水分がどんどん抜けているので、意識して水分を補給しないと、気が付かないうちに脱水症状になります。砂漠地帯なので、街を抜けるとすぐに砂漠になり、砂漠の中に街が点在している状態です。

街中は舗装され、ビルなどもありますが、周りが砂漠なので砂埃は凄いです。

箒で掃くというような悠長なことでは対応できず、床のタイルに水を撒いてモップで洗い流すのがこちらの最もポピュラーな掃除方法です。

もちろん、掃除機もありますが、すぐにフィルターが目詰まりしたり、故障をしたりする

ので、あまり人気がありません。

商店でも頻繁にほこりを払っていますが、どうしても商品が砂まみれになります。そんなことを気にしていたら、ヨルダン・ハシミテ王国では生きていけませんね。

人口は2017年の調査速報によると10,248,069人。

最近シリアからの難民が大挙して流入していますが、難民はこの数字に含まれていません。

現在、ヨルダン・ハシミテ王国に居るシリア難民は65万人から70万人いますが（国連が設営した難民キャンプに保護されている人の人数）、実際には独自に国境を越え、難民キャンプに收容されていない不法難民は300万人程度いるのではないかとされています。

ヨルダン・ハシミテ王国の人口の3割近い難民が流入していることになるので、国王以下、国民全体が非常に大きな危惧を抱いています。

国連高等難民弁務官事務所（UNHCR）では、ヨルダン・ハシミテ王国内に2か所の巨大難民キャンプを設けていますが、流入する難民が多すぎ、全てを收容することが出来ずにいます。

また、急増する難民に資金、支援物資、マンパワーなど、全てが絶対的に不足し、深刻な事態となっています

パレスチナ紛争が起こったときにも、パレスチナ（現イスラエル）からヨルダン・ハシミテ王国に多くのパレスチナ人が流入した歴史があります。

現在、政府が認定したパレスチナ難民は約170万人。それ以外に、ヨルダン・ハシミテ王国の国籍を取得したパレスチナ難民もあり、実数は分かっていません。

このパレスチナ難民、当初は国連高等弁務官事務所の保護下にありましたが、現在は、再びパレスチナの地（イスラエル）に戻るのが難しいため、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）という機関が教育や医療サービスを行うとともに、定住に向けた支援を行っています。

首都アンマンには、ワヒダット・キャンプと呼ばれる、パレスチナ難民キャンプがあります。難民が物の売り買いをしていた場所が、いまでは大きなスーク（市場）になり、パレスチナ難民だけでなく、地元のヨルダン人でも賑わう場所になっています。

それでは、ヨルダン・ハシミテ王国旅行記（2017年9月～10月訪問）の始まりです。

（続く）

次回は、（2）－ヨルダン・ハシミテ王国ってどんな国（その2）－です。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
